

## 実施前にご確認下さい

骨粗鬆症チェックシールの解説

**注意**: ビスホスホネート注射剤治療のケースあり



骨粗鬆症治療には、服薬継続率が大切です  
「治療率」「治療継続率」の向上を目指し  
薬剤師として、正しい服薬指導と服薬継続率を上げていきましょう

左:患者さん用(手帳に貼付)

【骨粗鬆症治療薬 ビスホスホネート服用】

起床後服用し、朝食までの間を(30-60分)空けていますか  
いずれかに○を付けて下さい

服用後(30-60分)横になっていませんか

胸やけ、胃もたれ、のどのつかえ感がありませんか

飲み忘れはありませんか

歯科治療を受けていませんか

“○”問題なし  
“✓(チェック)”要注意

治療箇所の記載など

特に問題がない場合でも項目に○を付けることで確認漏れがないことが分かります

✓事項(要注意事項)がある場合は、✓を付けると共に正しい服用法などを再度指導し、その指導内容を空白の部分、もしくは手帳の空いているスペースに記入すると良いです

歯科治療に関しては、治療・検診で受診かどうかは問いません、医師に服用している薬について伝えているかどうかが重要です

記入例

【骨粗鬆症治療薬 ビスホスホネート服用】

起床後服用し、朝食までの間を(30-60分)空けていますか

服用後(30-60分)横になっていませんか

胸やけ、胃もたれ、のどのつかえ感がありませんか

飲み忘れはありませんか  
飲み忘れたなら翌日に服用してください

歯科治療を受けていませんか(歯科医師に薬について伝え済み)

薬剤師保存用は、自由に使って頂いて構いません(例:投薬した記録として保存、紙薬歴に貼る等…)  
継続して指導ていきましょう



新潟市薬剤師会作成

2017年1月



#### 起床後服用し、朝食までの間を(30・60分)空けていますか

ビスホスホネート製剤は胃内に食事や他の薬があるとほとんど吸収されない薬の為  
胃の中がほとんど空の状態すなわち「朝起きてすぐ=起床時」に服用します  
空腹時に服用しないと、薬剤の効果が減弱します



#### 服用後(30・60分)横になつていませんか

のんだ後横になると、薬剤がのどや食道にひついて粘膜に刺激を与えることがあります



#### 胸やけ、胃もたれ、のどのつかえ感がありませんか

ビスホスホネート製剤で起こりやすい副作用です



#### 飲み忘れはありませんか

気付いた日の翌日に服用するようお伝えください



#### 歯科治療を受けていませんか ( )

あごや歯に対する症状を予防するために確認してください

服用の際、水道水は問題ないが、カルシウムの多いミネラルウォーターでの服用はビスホスホネート製剤の吸収が阻害されるためさけましょう

横にならなければ、座ってテレビをみていても、  
食事の用意や身支度をしていてもかまわないことを  
指導しましょう

コップ1杯の水で服用することでしっかり胃におとすこ  
とができます  
のどのつかえのある方は、薬によってゼリー剤があ  
ります。胸焼け・胃もたれのある方は注射剤もある事  
を紹介しましょう

状況に応じて、週一製剤  
月一製剤もご紹介下さい

歯科検診を受けていない方で、抗がん剤治療中、歯  
周病のある方は顎骨壊死の確率が  
高くなるので、歯や顎の違和感について確認しましょ  
う。抜歯の際には 服用を中止することがあります。主治  
医に連絡しましょう。